

「英語科」 授業のデザイン

授業者：James、大塚幸、杉谷なる実

- 1 日 時 平成30年10月31日（水）5校時
- 2 学 級 1年2組
- 3 題 材（単元） New Horizon1 Unit6 part3
- 4 本時の授業

(1) 目標 does を用いた表現で話すことができる。

(2) 授業の取り組み

英語への苦手意識を持ちやすい三人称単数の単元を、できるだけ理解しやすいように授業での説明を工夫している。主語によって変わる動詞を意識させながら、口頭でも言えるように指導していきたい。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>does を使った文を作り話そう！</p> </div>	
<p>②基礎の課題 <クラス活動></p> <p>●Yes / No question を用いて質問できるか 今までに習った疑問文を用いて相手チームの持っているカードの芸能人を当てる</p> <p>{ Does she sing a song? { Does she play the (楽器)?</p> <p>③ジャンプの課題 <グループ活動></p> <p>●3単現のSを理解し、英文を考えることができる 4人1組となり、各グループに2パターン(主語・動詞)のカードを配布する。</p> <p>主語カード：7枚 I, you, he, she, Ms. Sugitani, James, We 動詞カード：16枚 like, play などの動詞カードと、【全部返却】【右の人に1枚あげる】大どんでん返しの『オオツカード』 方法：坊主めくり</p>	<p>・一般動詞、be 動詞を区別し疑問文を作れるかを確認する</p> <p>・相手の質問を理解し、正しく答えられることができるか確認する</p> <p>・Main Topic での活動を生かし、自分で問題をつくることができるか。</p> <p>・友人からの質問文を理解し、自分の答えを英語で表現することができるか</p>
<p>・全部返却カードによって、一度聞いた動詞をもう一度引く可能性が高くなる。</p> <p>それにより、英語が得意な生徒はたくさん動詞カードをとっても返さなければならない可能性がたかくなる。また、英語の苦手な生徒は何度も同じような英文を聞くので、次第に英文を言えるようになることで、英語を話すことに抵抗をなくしてもらいたい。</p>	
<p>④まとめ</p>	